

自社 PR 部会 2023 年度総括

部会長：堀池和弘

副部会長：藤井伸樹

部員：井筒健二、梶山紀子、奥西典子、寺本和広、斎藤尚男、堀江聡、高橋洋晃、
佐々木阿悠佳

目的

お互いの理解を深め、商品・サービスの購入、または第三者に口コミしてもらえるような部会を行う。

内容

- ・内容の濃いプレゼンテーションを行う。
- ・SSC のホームページを管理する。
- ・各々の会社のホームページの更新を促す。
- ・新入会員のホームページ作成のサポートを行う。

事業総括

今年度は大きく分けて、ホームページのリニューアルと 3 社のプレゼンテーションを行った。

ホームページに関しては以前までは無料ホームページ作成ツールのジンドゥーを用いたホームページを使用していた。今後の資料管理やサーバーの容量などに問題があったため、精華町商工会本会のサーバーを借りてホームページの新規作成を行った。新入会員にも今までどのような事業をしていたのかわかるように作成し、メールで行っていた資料の共有もホームページ上で行えるように作成した。今後の課題としてはどのように継続的にホームページを運営していくか、また、より事業内容をわかりやすく伝えていくか（SNS を使うなど）を考えていく必要がある。

プレゼンテーションに関しては当初 4 名の発表を予定していたが、ビジネスメッセ部会、賀詞交歓部会の関係から 3 名（寺本和広、梶山紀子、堀江聡）の発表となった。内容の濃いプレゼンテーションをし、朝活内で発表者の事業内容の理解を深めることを目的としたが濃い内容を部会内で指摘することができず、ブラッシュアップできていない内容もあった。

発表者からは

- ・本会の部会だけではブラッシュアップの時間が短い。
- ・何かに特化したプレゼンテーションをするように聞いていたが何に特化したらよいか自分ではわからない。

- ・聞き手からどんな内容を聞きたいか確認しても良かった。
- ・賀詞交歓部会と内容が同じのように感じた。

などの意見が出た。

上記の意見にもあるように賀詞交歓部会との差別化が課題の一つである。また、1年を通して3名の発表は少ないという意見もあった。来年度は賀詞交歓部会との差別化を図る方法を考える必要がある。

全体を通してはホームページと自社PRが違う事業なので進行が難しく、部会で定めた目的にも違和感があった。また、本会の部会だけでは時間が足りなかった。本会の部会がもう少しスムーズに進むようにあらかじめ資料の共有を行うなどの対策が必要であった。